

市場に出回らない規格外のお花の個性を大切に。 フラワーロス救済 フレッシュネス全店で一輪挿し導入！

—くつろげる空間でお客様にやすらぎと笑顔を—

2023年6月9日（金）～

コロナイドグループの株式会社フレッシュネス(代表取締役社長：齋藤 健太郎/本社：神奈川県横浜市西区)は、2023年6月9日（金）より、ハンバーガーチェーン「フレッシュネスバーガー」にて、規格外として廃棄されてしまう【フラワーロス】を救済し、社会課題の解決に繋がるお手伝いをしたいとの思いから、全店にてテーブルに飾るお花の一輪挿しの導入を行います。



「大人がくつろげるバーガーカフェ」と、空間作りのコンセプトを大切にしているフレッシュネスバーガーでは、2022年1月より、一部の店舗にてお花の一輪挿しを飾っており、SNSでも多くの反響をいただいています。

今回、株式会社ジャパン・フラワー・コーポレーション様の活動に賛同し、綺麗に咲いているのにも関わらず、丈が短い・茎が曲がっているなどの理由で規格外として廃棄されてしまう【フラワーロス】のお花を仕入れ、全店にて一輪挿しの導入を行います。

お客様に気持ちのやすらぎと笑顔を提供するだけでなく、個性豊かで楽しめるお花を一輪でも救い、少しでも社会課題の解決に繋がればとの思いより、1か月約8,000本の廃棄を防ぐお手伝いをいたします。お花の種類はガーベラが主となりますが、時期により季節のお花も一部の店舗ではお楽しみいただけます。

※球場店舗・動物園店舗・フードコート店舗は除きます。

【フラワーロスとは】

大切に育てたお花が、様々な理由で誰の手にも届かず捨てられてしまう“フラワーロス”という社会課題です。市場や生産現場の独自の規格基準があり、それに満たないお花は規格外として廃棄されます。その数は年間約8.125億本。これは花の生産本数の約20%となります。

生産者さんも、個性豊かで楽しめるお花たちとわかっている、生かすことに時間とコストをかけることは難しいもの。肥料にしたり、道の駅で販売したり工夫はしても、まだまだ救いきれていないのが実態です。



【株式会社ジャパン・フラワー・コーポレーション】

北陸三県を中心に関東関西にもフラワーショップを展開。

国内ベスト5に入る花き流通業者として、市場から仕入れた花き・自社生産した花卉を法人・個人向けに販売している他、生花教室・生花装飾・ブライダル事業、コンサルタント事業まで、国内外で「花き」にかかるトータル商品・サービスを提供。

コロナ禍「2020 スマイルフラワープロジェクト」を立ち上げ「フラワーロス」という社会課題の解決、地方創生に取り組んでいます。

「21世紀を代表する花会社になる」ことを目標に掲げ、花を通じて花と共にある明るく豊かな暮らしと文化を創造します。

Japan Flower Corporation  スマイルフラワープロジェクト

【BE-FRESH 30】

フレッシュネスでは30周年を記念して、皆様へ常に新鮮な驚きと体験をお届けするため、30個のフレッシュな企画に挑戦！ 今回の企画もその活動の一つとなります。

常に新鮮な驚きと体験を届けたい。

フレッシュネスバーガーは皆様に支えられ30周年。

日常の贅沢を楽しむ身近な場所「大人がくつろげるバーガーカフェ」として皆様に笑顔をお届け出来るよう、更なる挑戦を続けていきます。

30周年記念サイト：<https://www.freshnessburger.co.jp/30th/>

公式アプリケーション・SNS

- ダウンロード：<http://adv.s.jp/cp/appredir/freshness>
- Instagram：https://www.instagram.com/freshness_1992
- Twitter：https://twitter.com/Freshness_1992



会社概要

商号：株式会社フレッシュネス

代表者：代表取締役社長 齋藤 健太郎

本社所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 ランドマークタワー12階

ホームページ：<https://www.freshnessburger.co.jp>